

事業評価システムのご案内

平成 21 年 6 月 30 日

福井県商工会連合会
経営支援課

商工会では、いくらの予算をつぎ込み、どれほどの効果がでたか、評価した上で次の事業展開を考え当面する諸問題に的確に対応します。地域の振興に資するためには如何に実行性ある事業を展開していくべきか、商工会が限られた財源の中で事業を効率化しその成果を高めていくために、事業評価システムの導入に取り組んでいます。このページでは、県内の 13 商工会における事業評価システム導入の取組みについて公表しています。

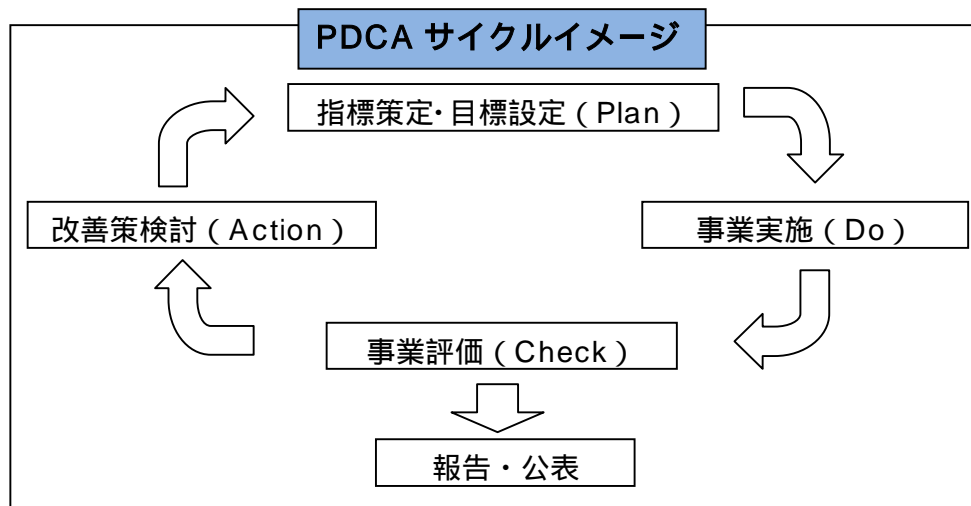
1. 事業評価システムとは

事業評価システムは、商工会の行う事業について、その事業の目標達成度を極力客観的に評価・分析、公表することにより、商工会事業の透明度を高め、会員をはじめとする地域商工業者並びに地域住民の商工会に対する理解と参画を促進し、もって地域における商工会の存立基盤を確立するとともに、計画的・継続的な事業の円滑な推進を図り、事業目標の達成度を高めることを目的とします。

2. 事業評価の実施方法

商工会が行う様々な活動の目的やねらいを明確にし、その成果をできるだけ数値で表すことによって「どれだけ成果があったか」「費用に見合うだけの効果がでているか」などの視点から商工会活動を客観的に見直し、その結果を次年度事業の改善につなげます。

商工会活動の中に、「Plan（計画） Do（実施） Check（評価） Action（改善）」の「P・D・C・A サイクル」を組み入れることによって、より成果を重視した商工会運営を目指します。



3. 評価の対象

商工会の事業活動を大まかに分けると「経営改善普及事業」「地域振興事業」という2つの事業で成り立っています。このすべての事業にわたり評価するのが理想ですが、現時点では、このうちもっとも基本的な事業である「9事業」「43指標」を用いて評価を実施しています。

4. 評価の手順

事業評価システムでは、事務局(責任者)が評価分析シート等を用いて、それぞれ実施した主な事業の内容について、商工会役職員で構成する事業評価システム運営委員会で評価を行いました。それらを総括して作成したのが「年次報告書」で、1年間の商工会の事業について目標や課題に対する事業の成果を明確にしました。その後、事務局から提出されたこれらの評価表をもとに、次年度事業について商工会会長が今後の方向性を判断しています。

5. 評価結果

実施した県内の商工会の評価表をすべて公表しています。商工会として、「新事業評価システム」導入初期段階の現状から、まだまだ評価表の記入内容や次年度予算への反映等の面において不十分な点がありますがあえてそのまま公表しています。これらの評価結果に対する皆様のご意見を参考にしながら、職員の評価能力向上と評価システムの改善に努めていきたいと考えております。